学校番号	305

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史探究 （人文社会・自然科学 b）	単位数	3 単位	年次	3 年次
使用教科書	『新詳 世界史探究』（帝国書院）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史探究では、2 年次に学習した歴史総合で身につけた歴史的な見方・考え方をもとに、世界のあらゆる地域の成り立ちや歴史的変遷を探究していくことになります。探究活動では、何の文脈もなく知識を断片的に覚えるのではなく、様々な歴史的な出来事に関して「縦」と「横」のつながりを意識して学習していくことになります。その際に大切になるのは各事象に対して「なぜ？」という視点を持つことです。各事象に関する、因果関係や他事象との関連性に着目しながら、自ら「なぜ？」を考察していくことができるような資質の育成を意識してください。そして、世界史探究で学んだ内容を現代の諸課題の解決に結び付けていくことができる力をつけるように意識していきましょう。

授業では、探究活動に対して主体的に取り組む態度が大事になってきます。個人活動だけでなく、グループ学習に対して主体的に取り組むことで、歴史的な思考力が身についていきます。課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返 ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

授業中のノートについては板書を書き写すだけでは、評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気付いたことやクラスメイトの発言した内容などをノートの枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。 ・諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察している。 ・歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができている。	・世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うことができている。 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	・中華文明の形成 ・秦漢帝国と東アジア ・中央ユーラシアと遊牧国家 ・遊牧帝国の興亡と移動 ・ユーラシアの変動と東アジア	a: 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 b:東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質について考察し,自分の言葉で表現している。 ・殷と周の支配形態を比較し、共通点と相違点を理解します。 ・秦漢代に整えられた中華王朝の特徴について考察します。 ・中央ユーラシアの国家と東アジアの国家の相違点について考察 ・隋唐帝国で形成された諸制度や文化が朝鮮半島や日本に広がった理由について考察します。 c:東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	南アジアと東南アジアの歴史的特質	・南アジアの文明と国家形成 スの世界 ・東南アジアの社会と国家形成	a:・南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 ・仏教やジャイナ教などの宗教について理解している。 ・8～10 世紀の諸勢力が割拠した時代における各地の政権の政策を理解している。 b:南アジアと東南アジアの歴史的特質について考察し,両者の共通点や相違点を挙げながら自分の言葉で表現している。 ・南アジア最初の統一王朝であるマウリヤ朝のもとでの仏教の発展、クシャーナ朝と周辺諸地域との関係を考察している。また、ヒンドゥー教が南アジア社会に根づいた背景を考察している。 ・東南アジアと南アジア・中国との関係を多面的・多角的に考察している。 c:・東南アジアの歴史的特質を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート グループワーク 定期考査	ワークシート 振り返りシート

	西アジアと地中海周辺の歴史的特質	・オリエント文明の興亡 ・地中海周辺の国家形成 ・地中海周辺と西アジアの帝国 ・ヨーロッパへ広がるキリスト教 ・イスラームの誕生	a：西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。 例えば、・アケメネス朝が広大な領域に中央集権的支配を築ことができた背景や要因を理解している。 ・パルティアとササン朝の繁栄の背景や要因を理解している。 ・ポリスの特徴およびそこでの人々の生活について、オリエントの都市国家と比較したうえで理解している。 b：西アジアと地中海地域周辺の歴史的な特質について考察し，自分の言葉で表現している。 例えば、 ・ギリシアの諸ポリスがマケドニアに敗れた要因を考察している。 ・ローマ共和政の特徴について、ギリシア民主政と比較したうえで考察している。 c：西アジアと地中海地域周辺の歴史的特質を主体的に追究しようとしている ・キリスト教の成立の経緯と、ローマ帝国によるキリスト教への対応をグループワークを通じて、対話を通して学び、他者にわかりやすく伝えようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート グループワーク
2学期	ユーラシア大交流圏の成立	・イスラーム世界の拡大 ・ヨーロッパ封建社会の展開 ・東アジア諸地域の成長と自立 ・ユーラシア大帝国の出現	a:イスラームとモンゴルによって形成された陸と海のネットワークを理解している。 b:イスラームとモンゴルによるネットワークの広がりがユーラシアや諸地域をどのように変えたのかについて考察し，自分の言葉で表現している。 c:ユーラシア大陸をつなぐネットワークについての理解を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート グループワーク

	アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	・明の国際秩序と東・東南アジア ・世界帝国清とアジア諸国の成熟 ・スペインとポルトガルの進出 ・イスラーム世界の成熟	a：14～17 世紀にかけてアジア諸地域間の交易が拡大したことを理解している。 b：交易の拡大による諸地域の変化のうち，最も大きな変化について根拠を示しながら自分なりに評価し，表現している。 c：③アジア諸地域間の交流について主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート レポート
	主権国家体制の成立と交易の拡大	・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家の形成と17 世紀の危機 ・東欧諸国の台頭とヨーロッパ文化の成熟 ・イギリスとフランスの覇権争いと大西洋三角貿易	a：17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を理解している。 b：17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化に大きな影響を与えたものは何かについて考察し，自分の言葉で表現している。 c：17～18 世紀のヨーロッパの社会構造の変化を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート レポート
	環大西洋革命～工業文明と国民国家	・世界で最初の工業化 ・アメリカの独立 ・フランス革命と国民国家の誕生 ・ラテンアメリカへの革命の波及	a：大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響を理解している。 b：大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響について考察し，自分の言葉で表現している。 c：大西洋を取り巻く地域で起こった革命が，各地の社会構造に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート レポート
	イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	・イギリスの覇権と自由主義 ・ヨーロッパに広がる国民国家 ・アメリカ合衆国の拡大と国家統合	a：イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を理解している。 b：国民国家形成の前後で，欧米諸国に生じた変化について考察し，自分の言葉で表現している。 c：イギリスの覇権が欧米諸国に与えた影響を主体的に追究しようとしている。 ・世界の一体化に関する自分なりの考察をレポートにまとめて、表現しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート レポート

	世界の一体化の進展とアジアの変容	・イスラーム王朝の解体と変容 ・南・東南アジアの変容 ・東アジア諸国の模索と変容	a:「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を理解している。 b：「西洋の衝撃」によるアジアの変化で，最も重大だと思うことについて，根拠を示しながら自分なりに評価し，表現している。 c:「西洋の衝撃」がアジア諸地域に与えた影響を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート レポート グループ ワーク
	世界の一体化の完成とその影響	・帝国主義と世界分割競争 ・アジア知識人による体制改革の試み	a:帝国主義が世界各地に与えた変化について，理解している。 b:帝国主義が世界各地に与えた変化について，欧米およびアジア・アフリカ・オセアニアの各地域ごとに考察し，表現している。 C:帝国主義が各地に与えた変化について，主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート レポート
3学期	世界大戦の時代	・第一次世界大戦と社会主義革命 ・第一次世界大戦とアジアのナショナリズムの展開 ・大衆社会の到来とファシズムの出現 ・第二次世界大戦とその惨禍	a:二度の世界大戦が起こった理由を理解している。 b:第一次世界大戦の反省を踏まえた平和への取り組みは成功せず，第二次世界大戦が起こった理由について考察し，表現している。 c:二度の世界大戦が起こった理由を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート レポート
	戦後の国際秩序と冷戦	・冷戦の展開と平和の模索 ・多極化の始まり ・新しい国際秩序を求めて ・冷戦下の経済秩序と格差 ・グローバル経済の光と影	a:第二次世界大戦と冷戦構造の関係について理解している。 b:冷戦構造が形成されるなかで，アメリカ・ソ連・ヨーロッパ・第三勢力諸国の動きが冷戦構造に与えた影響について考察し，自分の言葉で表現している。 c:冷戦構造が世界にもたらした影響を主体的に追究しようとしている。	定期考査 小テスト	ワーク シート 定期考査	ワーク シート 振り返りシート レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度